

平成29年度
KEMS 外部環境監査
報告書

柏市外部環境監査委員会

平成30年2月14日

平成29年度 KEMS外部環境監査タイムスケジュール

日付	時間	内容	場所
2月7日(水)	9:00	集合	分室 1 2階 第2会議室
	9:10~9:50	聴取監査① (環境政策課)	
	10:00~10:40	聴取監査② (保育整備課)	
	10:50~11:30	聴取監査③ (廃棄物政策課)	
	11:30~12:35	昼食	
	12:35~13:00	移動	
	13:00~13:40	現地監査① (沼南近隣センター)	沼南近隣センター
	13:40~14:05	移動	
	14:05~15:45	現地監査② (高柳近隣センター)	高柳近隣センター
	15:45~15:10	移動	
	15:10~16:00	現地監査③ (中原小学校)	中原小学校

主席 青木 誠 (EA21 審査人, ISO14001 審査員補)
 村田静枝 (柏市環境審議会委員, 柏市ストップ温暖化サポーター)
 山縣雅之 (EA21 取得事業所: 環境管理責任者, 柏市環境保全協議会: 理事)

平成29年度 KEMS外部環境監査 報告書

項 目	内 容
監査日	平成30年2月7日（水）
監査の目的	KEMSの環境方針と取組の整合性、有効性、システム改善の必要性などの確認
意見及び提言	<p>今回のKEMS外部環境監査は、聴取監査3部署（環境政策課、保育整備課、廃棄物政策課）及び現地監査3か所（沼南近隣センター、高柳近隣センター、中原小学校）において、環境方針と取組の整合性、システム規定事項の実施状況及び有効性、環境負荷低減への取組状況、前回外部環境監査指摘事項への取組状況、システム改善の必要性などについて確認を行うとともに、各部署の事業や業務と環境改善のかかわりや、法的要求事項遵守状況、行政機関として市民への環境マインド、環境配慮行動についての働きかけの聴取を行いました。</p> <p>1. 環境政策課（環境管理事務局）</p> <p>前回監査の提言10項目については、全5部署において真摯に受け止めていただき、9項目について対応が終了していることを確認し、行政改革推進課事務事業管理データのKEMSへの利用については継続して検討していただくことを確認しました。</p> <p>KEMSに規定された事項（事務事業登録・報告、温室効果ガス排出量報告、法的要求事項遵守、研修、監査、システム見直しなど）は監査の範囲内では適切に実施されています。この結果、「柏市環境基本計画（第三期）」「第二期柏市地球温暖化対策計画」「柏市エコアクションプラン」「柏市公共施設等低炭素化指針」などに基づく環境配慮事業が環境方針に沿って進められ、市施設及び市域の環境負荷低減、環境保全に寄与しており、KEMSの有効性を確認しました。</p> <p>KEMS本編（第9版）において、行政改革推進事務事業管理とKEMS事務事業管理の重複を軽減することを意図した改善が行われ、事務局が行政改革推進事務事業から「柏市環境基本計画(第三期)」「第二期柏市地球温暖化対策計画」などにかかわる事業を抽出して「KEMS事務事業一覧表」を作成し、各部署がこれに追加変更を行うシステムに変更しています。その効果として、登録件数が平成27年度の81件から、平成28年度は131件となり大幅に増加しています。しかし各部署からの独自目標の追加登録は5件であり、平成29年度も登録124件中、部署の独自目標の追加は環境政策課の2件のみとのことで、次の段階ではこの改善が望まれます。</p> <p>平成28年度の運用実績はKEMS事務事業登録131項目中、96項目（73%）において目標が達成され成果をあげていますが、更なる向上を期待します。尚、目標未達項目については、規定されているとおりに</p>

「KEMS事務事業目標未達事由報告書」により未達事由、改善策などが報告されています。

市施設全体の温室効果ガス排出量については、柏市エコアクションプランにおいて平成24年度を基準に、平成25年度から32年度の施設分類毎の削減目標値が明確化されています。平成28年度目標7.5%削減（平成24年度比）及び平成32年度目標15%以上削減（同）に対し、平成28年度実績は、「照明LED化のリース方式一括導入（6,324灯）」などにより、15.4%削減（対前年比5.0%削減）となり全体としては良好に推移しています。個別にみると平成28年度は15施設分類中、目標達成が6施設分類、未達成が9施設分類であり、前年同様に過半数の施設が未達成であり、今後の改善を期待します。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア システムの継続的改善

KEMS事務事業登録方法と実績報告方法を変更して「柏市環境基本計画（第三期）」「第二期柏市地球温暖化対策計画」などとの対比の明確化及び整合性の向上が図られ、それら計画の変更内容なども確実にKEMS事務事業一覧表に反映されるように維持・改善しています。これによりKEMS事務事業の登録分野・件数が拡大するとともに、各部署の登録、変更、報告などの事務量を大幅に軽減しています。

イ 環境教育

環境方針に環境教育が追加され種々のよい取組を実施しています。

- ・企業などによる出前講座をとりまとめ、小中学校にその情報が提供されています。
- ・小中学校4・5・6年生を対象に「みんなで考えよう地球温暖化〜クールチョイス！柏」をテーマとして環境絵日記の募集が行われ、11校より291名の応募を受けています。
- ・小中学校全学年を対象に「手賀沼の水環境保全ポスターコンクール」が行われ、30校より356名の応募を受けています。
- ・希望小中学校にゴーヤの苗が配布され、緑のカーテン設置の取組が行われています。

ウ 市民啓発

環境方針に環境情報の発信が追加され、平成29年度KEMS登録事業に「COOL CHOICE の推進」を新たに追加して、市民などへの環境マインド、環境行動についての働きかけが積極的に行われています。

- ・柏レイソルとの協働による「COOL CHOICE マッチ」開催などの柏市ならではの取組が行われています。
- ・「手賀沼エコマラソン」「かしわ環境フェスタ」などのイベントへの啓発ブース出展、駅前などでのデジタルサイネージ放映、電車・バスでの広告掲出などによりCOOL CHOICE が呼びかけられています。

す。

- ・「かしわ環境フェスタ2016」は参加者数が目標未達になりましたが、開催場所、出展ブースなどの見直しが行われ、「かしわ環境フェスタ2017」では参加者が前年比180%で大幅増員となり目標を達成しています。

エ 職場表彰

「柏市公共施設等低炭素化指針」に基づき8部署において、合計6,324灯の照明がリース方式一括導入によりLED化され、CO₂が65%削減されています。これらの事業が評価され、多部署が表彰されていて良好です。

提言事項は以下のとおりです。

ア システムの継続的改善

各部署がKEMS事務事業として自部署独自の活動も追加できるシステムになっていますが、平成29年度の追加登録は環境政策課の2件のみとのことでした。次の段階は部署の活動の更なる活性化であり、通常業務に関連する独自活動などをもっと気軽に行うことができる仕組みを検討してはいかがでしょうか。（例えば、事業登録せず取組テーマと結果を記録し自部署で保管などがあげられます。）

イ 法的要求事項の周知と管理

遵守管理を確実にを行うために「法的要求事項登録表」「法的要求事項変更表」について次の事項の検討と周知をお願いします。

- ・PCB特別措置法に処分期限（東京エリア平成34年3月31日）を追加してください。KEMS適用範囲のPCB処分計画を確認してください。
- ・小型家電リサイクル法が該当しますので記載を追加してください。
- ・実施状況は実施・未実施だけでなく、確認した根拠となる文書・記録などが具体的に分かるように可能な範囲で記載し、担当者が交代しても管理が確実にできるようにすることを推奨します。
- ・「法的要求事項変更表」において浄化槽法について管理を町会に一任しているため「削除」としていますが、保守点検及び清掃、法定検査などの実施状況を記録などにより確認することを推奨します。

KEMSは245部署という広範囲に亘る大規模なシステムですが、多業務を行いつつ少人数でシステムを回している事務局の方々の熱意と努力に敬意を表するとともに、監査時に終始真摯に対応していただいたことに感謝いたします。

2. 保育整備課

5人しか所属していない少人数の部署です。そのため、指示や伝達が行

き届き、ノー残業デーの実施や車以外の通勤も行われ環境に対しての意識が高い部署であると感じました。

前年度7園が開園しましたが、全ての園でLED化実施済みであり、内2園では太陽光システムを取り付けていて環境に配慮した施設作りが実施されています。（国からの推奨事項でもあります。）

提言事項は、以下のとおりです。

ア 新規認定をする事業者の条件の一つとして環境に配慮した事業者であることも検討していただきますようお願いします。

3. 廃棄物政策課

KEMS事務事業に登録している小型家電の回収について伺いました。今年度の回収ボックスは18ヵ所設置し「みんなのメダルプロジェクト」の影響もあり回収量は増えているとのことです。

回収ボックスからの回収、一次解体作業を無償で福祉作業所が行っていることは、柏市の特長であり評価できます。

また、小学校の出前講座でも小型家電リサイクルに関して体験的に学ぶ機会を提供しています。小型家電回収の啓発チラシを回収ボックス脇に置いたり、リボン館では運営委員が作成したわかりやすいポスターを掲示するなどの工夫があり、積極的に広報されています。

情報保護については、今後回収企業に出向いて確認すると説明があり検討されていることがわかりました。

生ゴミ処理容器購入費の事業はコンポスト19台、EM菌21台、機械式41台と機械式が半数を越え、近年では主流になってきています。機械式は電気を使用するため夜間利用をすすめています。夏場の生ゴミのにおいなどを考えて、9月頃広報を利用して呼びかけを行っています。

提言事項は以下のとおりです。

ア 小型家電回収をより市民に知ってもらうために、環境フェスタなど人の集まるイベントでチラシ・臨時回収ボックスを置くなど検討をお願いします。

イ 3R推進事業所及び3R推進店推奨制度は今後も継続し、取組内容を知らせるとともにみんなの制度にさせていただくよう期待します。

4. 沼南近隣センター

研修は臨時職員、清掃業者も交えて行い、エコアクションプランについても充分に取り組んでいることがわかりました。

エアコンは今年度から部屋の稼働率があがったため、集中管理から各部屋での管理に切り替えました。温度計の設置と貼り紙により、利用者へ協力の呼びかけも行っていきます。

夏は、緑のカーテンを実施しなくても、南側に里山があるため、自然のカーテンとなっています。

提言事項は以下のとおりです。

ア 沼南近隣センターは、ひまわりプラザ（ひまわりは沼南の町花）という愛称で呼ばれています。ひまわりを植える、イベントで種を配るなど愛称のアピールとともに環境の取組に繋げていただきますようお願いいたします。

イ チラシなどを印刷する際は、紙を節約するよう呼びかけをお願いします。

5. 高柳近隣センター

センターの特徴としては、地域活動が盛んな地区にあり、ボランティア団体や地域の方との連携も良好で南部地域のコミュニティーの中心であり、地域の防災拠点にもなっているとのこと。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア 省エネ活動などにより電気使用量を前年比で24%削減しています。

- ・ホール、エレベーター照明のLED化、照明の間引き
- ・空調機の改修と利用者への温度管理の呼びかけ（部屋毎に掲示など）
- ・エレベーターは通常オフで希望者がいるときのみ運転

イ グリーンニューディール基金を活用して太陽光発電設備、蓄電池を設置して災害時にも活用できるように備えています。

ウ 地域の環境保全活動（ピカ美化運動）に参加してゴミの収集、ゴミの分布図作成、投棄原因分析、防止対策などの活動に協働しています。

エ フロン排出抑制法の業務用空調機の簡易点検は、点検表を作成して適切に実施されています。

提言事項は以下のとおりです。

ア 地域の防災拠点になっているので、太陽光発電設備、蓄電池を設置して災害時にも活用できるように備えていることを利用者にもっとPRしてはいかがでしょうか。

イ 緑のカーテン実施はマンパワー不足で難しいとのことですが、ボランティアや地域の方に協力を呼びかけてみてはいかがでしょうか。

6. 中原小学校

ビオトープ委員会（5、6年生が16人所属）が校長先生のご指導のもと活発な活動をされており8年間継続してビオトープを維持管理しています。一部腐食してきている部分があり、修繕を検討中とのこと。ビオトープ新聞も都度発行されていて児童・教職員・保護者に対しても自然豊

	<p>かな学校の様子を発信していて素晴らしいと思います。</p> <p>校長室の電灯の間引きも行われています。</p> <p>ドリームフラワープロジェクトにも参加され積極的に環境学習が実施されています。</p> <p>校長・教頭先生とともに、環境への意識が高く、教職員や児童に伝えたいという想いを強く感じました。</p> <p>提言事項は以下のとおりです。</p> <p>ア ビオトープ内にあるお米収穫後の藁の再利用をご検討ください。</p>
<p>主席外部環境監査員</p>	<p>青木 誠</p>
<p>外部環境監査員</p>	<p>村田 静枝</p>
<p>外部環境監査員</p>	<p>山縣 雅之</p>